

長畝ふるさと通信

【2016年12月号】

■ 新年明けましておめでとうございます。本年も「朱鷺と暮らす郷米」をご愛顧の程、よろしく願い致します。

29年産のトキ認証米のうち「冬期湛水」の申請を約60ha程しました。それぞれの田んぼの進入路には申請カードを設置し、あとで市の職員が要件に適合しているかチェックします。今シーズンはこれまでの間、積雪もなく十分に水が溜まるか心配しています。



■ 長畝氣比神社「新年礼祭」レポート

初めてお宮の氏子総代の役が回ってきました。ボク自身初めての経験なので新年礼祭の様子をご紹介します。

12月31日、大晦日の午後、神主様から「お祓い」の儀式をしていただきます。神前に玉串やお米、野菜、昆布などのお供えをし、4人の総代がお祓いをしてもらいます。



奥の神殿には御神体として(諸説ありますが・・・)丸い鏡が中央に置かれ、その前には佐渡の伝統芸能「鬼太鼓」で昔使われていた一對の鬼の面が奉納されています。普段は全うかがい知ることのできない貴重な空間を拝見することができました。

元旦、早朝7時、静かなお正月です。静寂な時間に神社の森からトキの鳴き声が聞こえてきます。この小さな神社に初詣に参拝しに来るのは集落の氏子70件あまりです。その間、氏子総代は参拝者に御札を渡し、お神酒で接待しながら1年のご挨拶をするのです。何ともいえない情緒がそこには感じられました。





＜長畝氣比神社＞氣比神社の本社・氣比神宮は福井県敦賀市。佐渡には長畝を含め、4か所ある。「能」が盛んであったため大正末期に拝殿兼用能舞台として改造されたが、終戦後ジリ貧となり、現在に至っている。その昔、能に燃えた村人の心意気を今となつては伝えることもできない。

■ 朱鷺見橋から



うちのすぐ近くを流れる川に「朱鷺見橋」という橋が架かっています。元旦、初詣で氏子総代としての初仕事を終えた後、酔い覚ましにいつもの散歩コースをよたよたと歩いていると・・・2羽のトキが飛んでいる姿を見ました。まさに「朱鷺見橋」です。夕日に照らされたトキの羽色は何とも美しく、心を癒してくれました。

大晦日に渋谷の大交差点で大騒ぎするニッポンの若者たち、大都会の大神社に行列をつくる参拝者の群れ、お札が舞う大賽銭箱・・・新年を「厳かに迎える日本の風情」はどこにも見られません。「また一つ年をとった・・・」と思う反面、まだまだやることがあると思うのでした。

■ 皆様にとって良い1年でありますように！

全国にブランド米と呼ばれるものは300品種もあるそうです。箱根駅伝ではありませんが常に「シード校」と呼ばれるように今年も前を見て走るつもりです。本年もよろしくお願い致します。

